

立命館経済學

第十八卷 第二・三号

昭和四十四年八月

内 容

論 說

- 京都商人の商魂について (一) 足 立 政 男 1
— 京都の老舗における店則から —
- 銀行資本における観念論批判 小 牧 聖 徳 32
— 研究方法との関連において —
- 労働力政策に関する覚書 三 好 正 巳 59

研究ノート

- 独占段階成立期の資本制的労働過程 坂 本 和 一 93
— 鉄鋼業の場合 —

立 命 館 大 学 経 済 学 会

立命館経済学 第十七卷・第三・四号

論説

箕浦格良教授還暦祝賀論文集発刊

に憶う……………武藤守一

マルクスの国家観と財政論……………大谷政敬

産業資金と国家資金……………小牧聖徳

A・デ・ヴィティ・デ・マルコの

財政理論……………西村正幸

——その公共財生産理論を中心として——

近世京都商人波家の江戸店経営

とその没落について……………足立政男

わが国の出生性比の上昇について……………関弥三郎

シムムペーターモデルの再検討(上)

……………浜崎正規

——開発理論形成のための適応論争をめぐって——

箕浦格良教授 略歴・主要著作目録……………

立命館経済学 第十八卷・第一号

論説

河上・経済学の今日的意義……………相澤秀一

ルール石炭鉱業の展開とプロイセン

鉱業法(完)……………川本和良

研究ノート

資本論における方法と世界観(上)……………梯明秀

——その残された諸問題の一つについて——

共同研究室

発行所 立命館大学経済学会